

ファッションを通じて、交流を生み出す。

KASANEO

Used & Memory



京都文教大学
地域連携学生プロジェクトKASANEO
G-mail kasaneo.2018@gmail.com
Twitter @KASANEO1
Instagram @kasaneo.2018
@kasaneo.photos

〔事務局〕
京都文教大学フィールドリサーチオフィス
〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80
Tel. 0774-25-2630

Vol.3
2021 July

KASANEO -introduction-



KASANEOとは、2018年度に発足したプロジェクトです。
「若者から高齢者、幅広い世代の人々が一緒になって、自然に楽しめる場づくりが必要だ」と考え、立ち上げました。

年代差の大きな壁があると、どうしても話のズレなどが生じてしまい、話しづらいと思ってしまいがちではないでしょうか？
交流を発展させるには「共通の話題を探すこと」が必要だと考えました。

そこで、**私たちが提案する共通の話題は「ファッション」**です。

古着を 着ていると...



学生⇒「あまり見ないデザインでかわいい!!」

高齢者⇒「とても懐かしい、
私もこんな服持っていた!!」

ファッションの流行は20年周期だと言われていることや、若者は「ファッション」というワードに敏感で、積極的に活動に参加する傾向があります。そのようなことなどから、私たちはファッションに注目しました。

ファッションを取り入れた活動は、高齢者の方から「衣服とその思い出を提供していただく」ことから始まります。
私たちは、**衣服を「物」としてではなく、「思い出」として受け継ぐ活動**をしています。

現在、学生メンバー17人に加え、京都文教大学に通う宇治市高齢者アカデミー在校生や卒業生13人をシニアメンバーとして迎え、一緒に活動をしています。

シニアメンバーがKASANEOに入ったきっかけ

アカデミー生になった目的のひとつは学生さんとの交流でした。KASANEOの初代代表が4期生のサポートをしてくれていて、古着の処分に困っていたのもあり、手伝いたくて入会しました。

大橋 喜次さん (アカデミー4期生)

KASANEO発足当時に大学に通学していて、お話を受け昔の服を提供しました。40年も前の若いころに買ったワンピースを素敵に着こなしてもらい嬉しく感じました。捨てられずしまい込んでいた服が生き返ったように思います。

阪田 憲子さん (アカデミー4期生)

古くて着なくなった、サイズが合わなくなった、時代遅れになった...等々の服は廃棄としか考えていなかったが、衣服を「思い出」として再生するKASANEOの趣旨と、その中にシニアとのコラボを位置付けていることに共鳴し参加しました。

今泉 俊夫さん (アカデミー5期生)

ダンスの肥しとなっていた（自分にとっては何かしら捨てられない思い出があるのかな？）衣服が脚光をあびるかもと思い、KASANEOに参加しました。

勝田 純一さん (アカデミー5期生)

授業が終わると学生はすぐに帰ってしまい、言葉を交すことができませんでした。学生と交流したくてKASANEOに入りました。

八木 純一郎さん (アカデミー5期生)

～衣服を通じた活動の流れの紹介～

- 1 高齢者の方に着なくなった衣服を提供していただきます。
その際、KASANEOメンバーが、提供者にその服を着ていた当時の思い出や時代背景、流行などを伺います。

ファッションに興味のある学生を対象に、KASANEOが主催するショーや雑誌のモデルを募集します。
- 2 モデルをしてくれる学生たちには、高齢者から提供していただいた衣服の情報と思い出を伝え、学生自身の私服と組み合わせ、今風にコーディネートしてもらいます。
今風にコーディネートすることで、長い間着ていなかった昔の衣服に新しい価値を備え付けます。

コーディネートした衣服はモデルが着用し、撮影します。
- 3 その写真をもとに雑誌を作成したり、また、ファッションショーや展示会などを開催し（P.3参照）、提供いただいた衣服や思い出の紹介をすることで、自然と多世代交流の場が生まれます。
その後、「ほしい理由オークション」を行い、衣服を「思い出」として次の方に受け継いでもらいます。



— 思い出の衣服の提供について —

着なくなった思い出の衣服や小物の提供にご協力していただける方を募集しています。
本来は提供してくださる方と直接お会いし、学生メンバーが衣服や当時の思い出をお伺いながら衣服の受け取りを行っています。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、対面での衣服の受け取りが難しい状況となっています。
そのため、対面での受け取りができるまでの間、メールと電話での対応とさせていただきます。

メールでのやりとりを希望される方は kasaneo.2018@gmail.com までご連絡お願い致します。

電話でのやりとりを希望される方は 0774-25-2630（京都文教大学フィールドリサーチオフィス）までご連絡お願い致します。

ご連絡をいただいた後、後日KASANEOメンバーから折り返しご連絡させていただきます。
そのため、連絡可能なメールアドレス、または電話番号からのご連絡をお願い致します。

衣服を提供いただく際に「お名前・衣服の思い出・衣服を購入、または着用させていた年代・当時聞いていた曲」などをお伺いさせていただきます。

イベント紹介

①KASNEO COLLECTION (ファッションショー)

高齢者の方に提供していただいた衣服を、学生の私服とコーディネートし、新しく生まれ変わった衣服の姿を披露する場です。さらに、このショーは様々な人が集まる場となり、誰もが気軽に集まれる「居場所づくり」につながります。

○KASNEO COLLECTION 1st

2018年9月2日に京都市伏見区にあるCOOP桃山にて行いました。



○KASNEO COOLECTIONO 2nd

2018年9月27日に宇治市小倉町で開催されているイベントの「OGUZANIA大作戦」にて行いました。



○KASNEO COLLECTION 3rd

2018年12月9日に京都文教大学で開催した「ともいきフェスティバル」にて行いました。



○KASNEO COLLECTION 4th (in大阪)

2019年10月14日に大阪市福島区にあるPINEBROOKLYNにて行いました。



○KASNEO COLLECTION 5th

2019年11月30日に京都文教大学のサロン・ド・パドマで開催したKASNEO主催のイベント「KASNEO FES」にて行いました。



○KASANEO COLLECTION 6th

2020年12月6日に宇治橋通りにある大阪屋マーケットで開催された「OMFS 2020」にて行いました。



○KASANEO COLLECTION 7th

2021年3月27日に京都市内にある大江能楽堂で開催された「Cocojigen」にて行いました。



②KASANEO展示会 —“和”をつなげる展示会—

2018年10月27日と2019年10月26日に、京都文教大学にある「樹心亭」という茶室で行いました。時間が限られたファッションショーでは、衣服とその思い出を合わせてじっくりと見てもらうことや、お話する時間を十分にとることが不可能です。そこで、展示会という場により、じっくりと衣服を見たり交流を行ったりする時間をつくります。



③スナップ撮影イベント

2019年7月13日に京都文教大学で行いました。KASANEOの活動を広めることはもちろん、若者と高齢者が交流できる場づくりを目的として、企画しました。このイベントで撮影した写真を使用して、KASANEO交流雑誌 vol.2を作成しました。



④わんさかフェスタ

宇治橋通り商店街で開催されている「わんさかフェスタ」に2018年と2019年に参加させていただきました。KASANEOは、学生メンバーやシニアメンバーが昔着ていた服を出品し、フリーマーケットのブースを出しました。



p.1 KASANEO -introduction-

KASANEOのコンセプトの説明

シニアメンバーがKASANEOに入ったきっかけ

p.2 衣服を通じた活動の流れの紹介

提供していただいた衣服を使っての活動について

思い出の衣服の提供について

衣服を提供していただくにあたっての説明

p.3 イベント紹介

KASANEOがこれまで開催・参加してきたイベントの紹介

p.6 Used & Memory

学生による着こなし方を年代別に掲載

衣服に込められた思い出と提供者さんの紹介

Used & Memory

SET UP...1965年購入
提供者⇒大塚 宣子さん



※上のみ着用



※上のみ着用

衣服の思い出

結婚するときに仕立ててもらった服の1着。
その後、ミニスカートが流行し、スカートを自分で短くした。

1960's

DRESS...1968年購入
提供者⇒須藤 貞子さん



衣服の思い出

娘がお腹にいる頃に着ていたマタニティドレス。

JAKET...1970年後半購入
提供者⇒伊藤 初江さん



衣服の思い出

息子さんが中学・高校の時の保護者会に着て行ったジャケット。
高価なブランド品は購入できないため、
鮮やかなカラーのお洋服とヒールを合わせて勝負していた。

1970's

DRESS...1970-1972年頃購入
提供者⇒阪田 憲子さん



衣服の思い出

おままごのように楽しい新婚生活を送っている時期に購入したお洋服。
当時、「グループ交際」が流行っていて、男女で仲良く砂浜で歌って
楽しんだりしていた仲間の1人が現在の旦那さん。

SKIRT...1970年頃製作
提供者⇨杉本 圭子さん



衣服の思い出

学生時代、百貨店のセールで生地を購入。
お馴染みのお店で雑誌を見ながら、
デザインをリクエストして作ってもらった思い出の一着。

SET UP...1976年頃購入
提供者⇨木村 正孝さん



※上のみ着用



※上のみ着用



衣服の思い出

43歳の時に購入し、仕事と並行しながら労働組合の
全国代表をしていた際着用していたもの。
「労働組合役員は地味でセンスの悪いおじさん」
というイメージを与えないよう、おしゃれに気を遣っていた。

SWEATER...1982年購入
提供者⇒大橋 善次さん



衣服の思い出

景気も良く、自分の店の経営も好評だった頃、
このようなセーターが流行り、気に入って着ていた。

1980's

SET UP...1985年頃購入
提供者⇒五艘 勝子さん



※上のみ着用

衣服の思い出

デパートを歩いていて一目惚れし購入した。
この服を着て当時好きだった甲斐バンドのコンサートに
友達に行ったことを今でも思い出す。

SET UP...1987年製作
提供者⇒須藤 貞子さん



※上のみ着用



※下のみ着用



衣服の思い出

娘のイメージするデザインを
2人で意見し合いながら形にしたツーピース。
当時はローラアシュレイが流行っていて、その世界観を元に作った。
生地はインポート物で、材料からこだわった一着。

SET UP...1989年頃購入
提供者⇒川崎 篤子さん



※下のみ着用



※上のみ着用



衣服の思い出

小倉の駅前に素敵なブティックができた時に、
色が気に入ってつい買ってしまったお洋服。

DRESS...1990年頃購入
提供者⇒伊藤 初江さん



衣服の思い出

息子の結納の後のお食事会に着ていったワンピース。

1990's

JACKET...1993年頃購入
提供者⇒北川 範子さん



衣服の思い出

着物屋さんに就職するときに合わせて買ったスーツの上着。
当時の就職活動では、
黒のリクルートスーツを着る習慣はなかった。

BAG...1994年頃購入
提供者⇒川崎 篤子さん



衣服の思い出

娘の大学の入学祝いにプレゼントしたバッグ。
ラルフローレンが好きだった。

COAT...1998年頃購入
提供者⇒伊藤 初江さん



衣服の思い出

カシミアのコートが欲しいと思い、20年前に購入。
当時、5年ほど社交ダンスを行っており、
そのときに着ていた思い出の服。

SET UP...1998年頃購入
提供者⇒川崎 篤子さん



※下のみ着用



※上のみ着用

衣服の思い出

母のために買い求めた。
10年以上前、宇治市の文化センターで吉本興業の舞台に
宇治市民も出演できる機会があり、私の長男が出ることになり、
この服を着た母と一緒に見に行った。

COAT...1999年頃購入
提供者⇒川崎 篤子さん



衣服の思い出

20歳を過ぎた娘に社会人になれば黒いコートが必要と考え、
用意したAラインのコート。

JACKET...2002年頃購入
提供者⇒木村 正孝さん



衣服の思い出

仕事をしながら大学に通っていたときのもの。
当時、平日は17時まで仕事、仕事を終え22時まで勉強、
休日は1日勉強というハードな毎日を送っていた。

2000's

BAG...2004年頃購入
提供者⇒川崎 篤子さん



衣服の思い出

娘が誕生日に欲しがっていたので買ってあげたバッグ。
着物に合わせて持ったりし、愛用していた。

